



國輝画

西馬譚

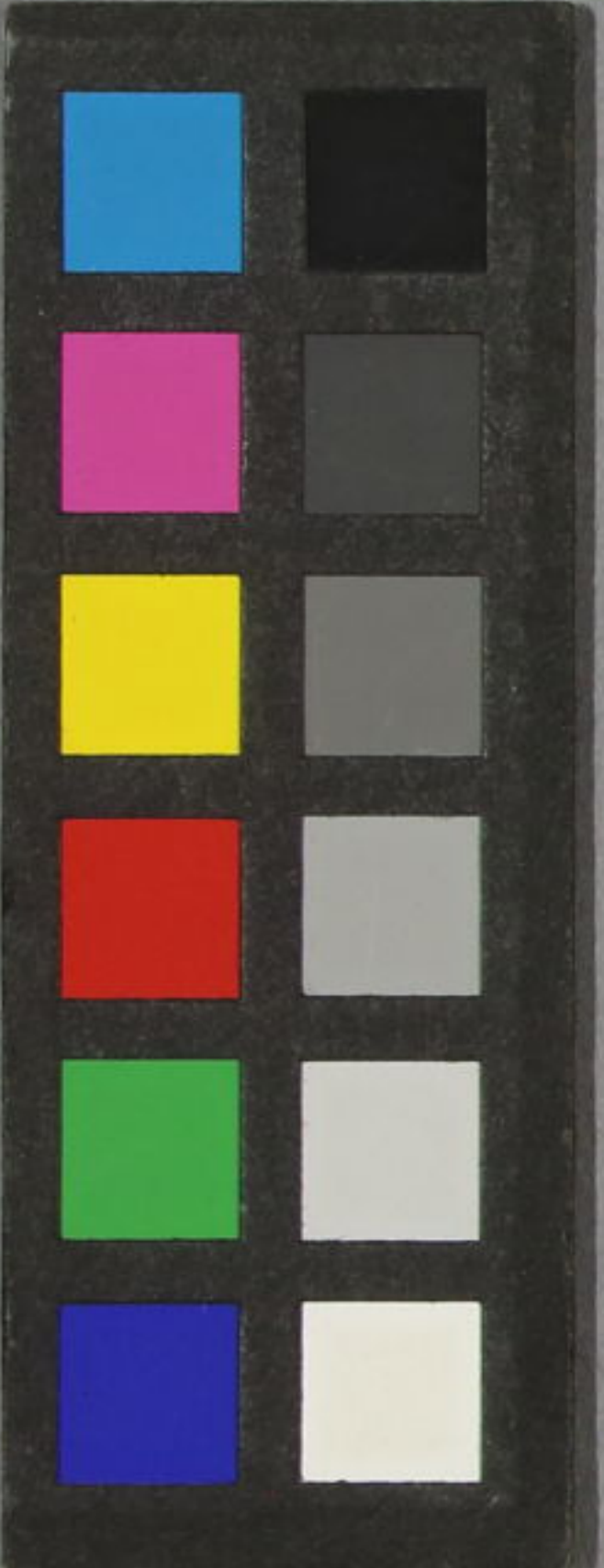
弓張月九篇

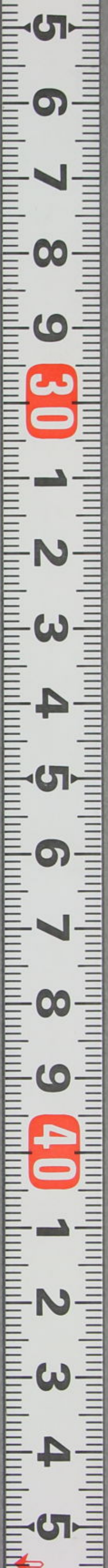
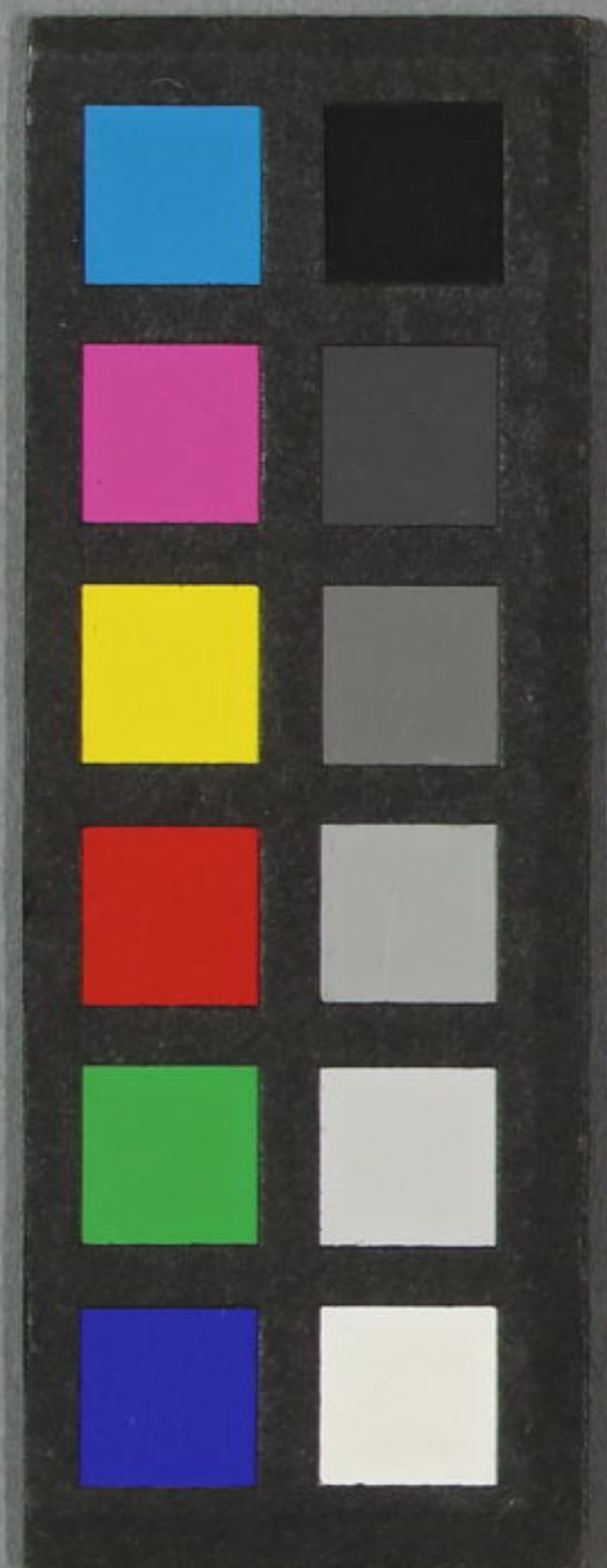
外題曲及國志

~ 13
3693
18

~ 13
3693
17

上





門へ13
號3693



西馬輝

國輝画

五江壽屋

梓

弓張

月

第九編

上集

嘉永六

葵具香

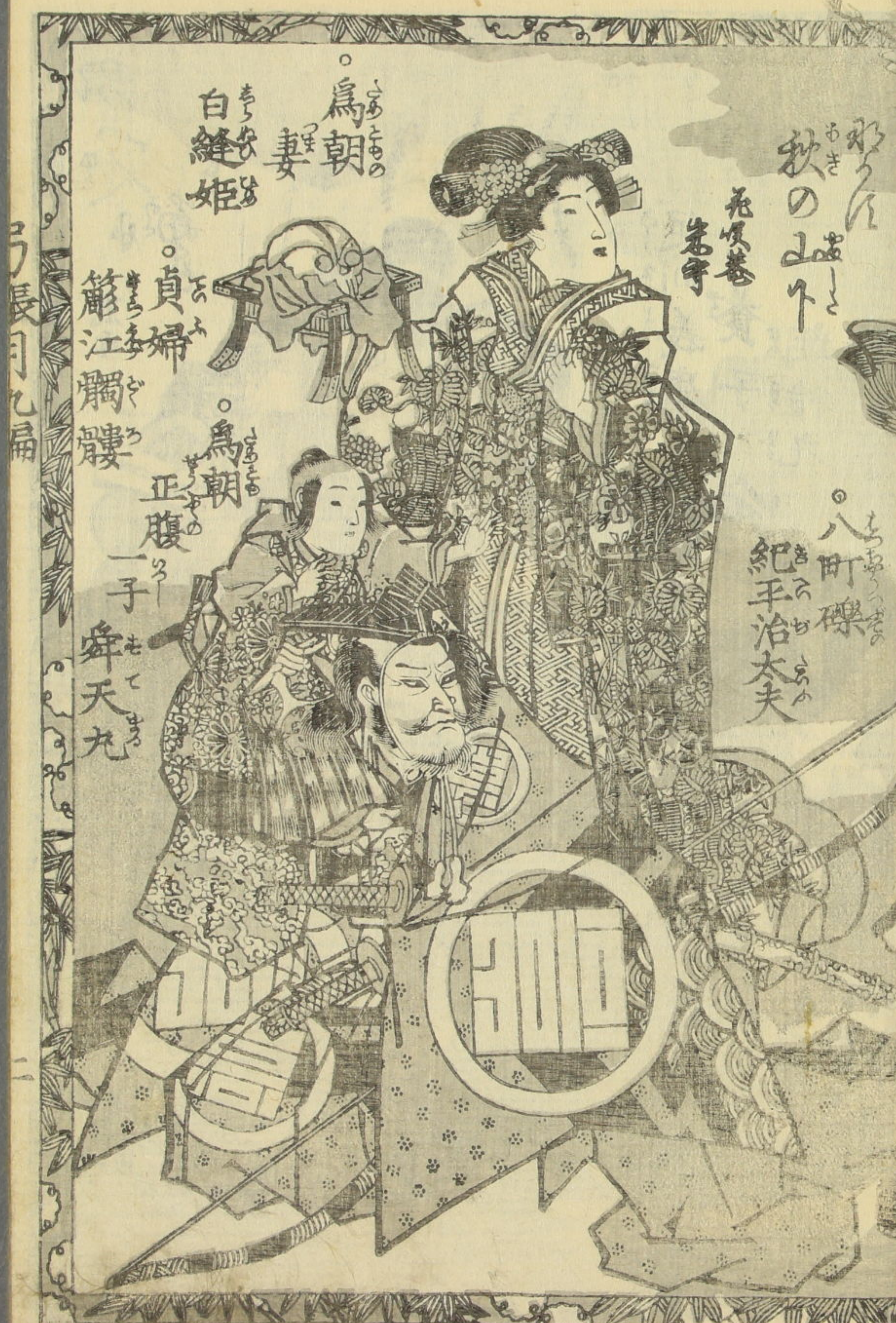
菱糸

世小神史むと愛度めいへり。そと奈何と以に相も愛と双業。て年と
暮。も来春の新玉。まの北千歳と祝月草双紙。もろく。小去年の所鑑
古販と形。亦新案乃魁と早咲の梅ひくと賞需諸看官一陽来福の御慰
小臈月夜。弓張。此為朝傳記。も既九編の慶市と。作者。此手柄。八更。小形。
故人の妙著。せら。と。御伽咄。に讀意中。色も香も。の尻。綴方。あら。書費
おま。ハ。如。お。自業。と。不。需。前。流。人。の。知。る。小。説。本。と。撰。視。用。足。綴。ら。ま。れ。と。
卯月。小。憐。李。封。疆。は。花。ち。と。半。過。梢。淋。に。並。槽。の。當。り。を。的。み。て。四。谷。怪。談。裏。表。
將。近。節。の。櫻。莊。子。能。吉。利。と。俱。得。せ。ん。と。猫。抄。子。と。人。れ。氣。の。夜。益。と。も。競。ひ。
の。と。軒。役。乃。交。代。寝。られ。ぬ。ま。ふ。引。業。の。半。面。方。題。亦。點。反。仗。不。投。せ。六。と。ふ。と。
立。上。の。序。文。で。こ。る。も。ま。と。ま。ぬ。ハ。幾。度。愛。ま。ま。歩。運。う。や。か。と。口。の。中。に。語。と
走。帰。り。ぬ。

嘉永六癸丑歲孟陽新鐫 樂亭西馬戲述



弓張月二編



鳥朝の妻
白縫姫

貞婦
籠江彌腰

鳥朝
正腹

一手
舜天丸

秋の山下
花咲巻
若守

八町礫
紀平治大夫



源八郎
鳥朝

東都名所
圖會内
山下秋暮

素もも
あやふさ
見世の
猪の子



曲止るはまけて 其角

松林

江 天

良臣 梁田 二 時員 郎

乃長月二篇



男の人中 鼠雪

足利義康

養子 朝稚丸

海賊 渦丸

云、乃長月二篇

鳥朝

鳥朝の御説き

鳥朝の御説き... 高問... 白ぬい



鳥朝の御説き... 高問... 白ぬい

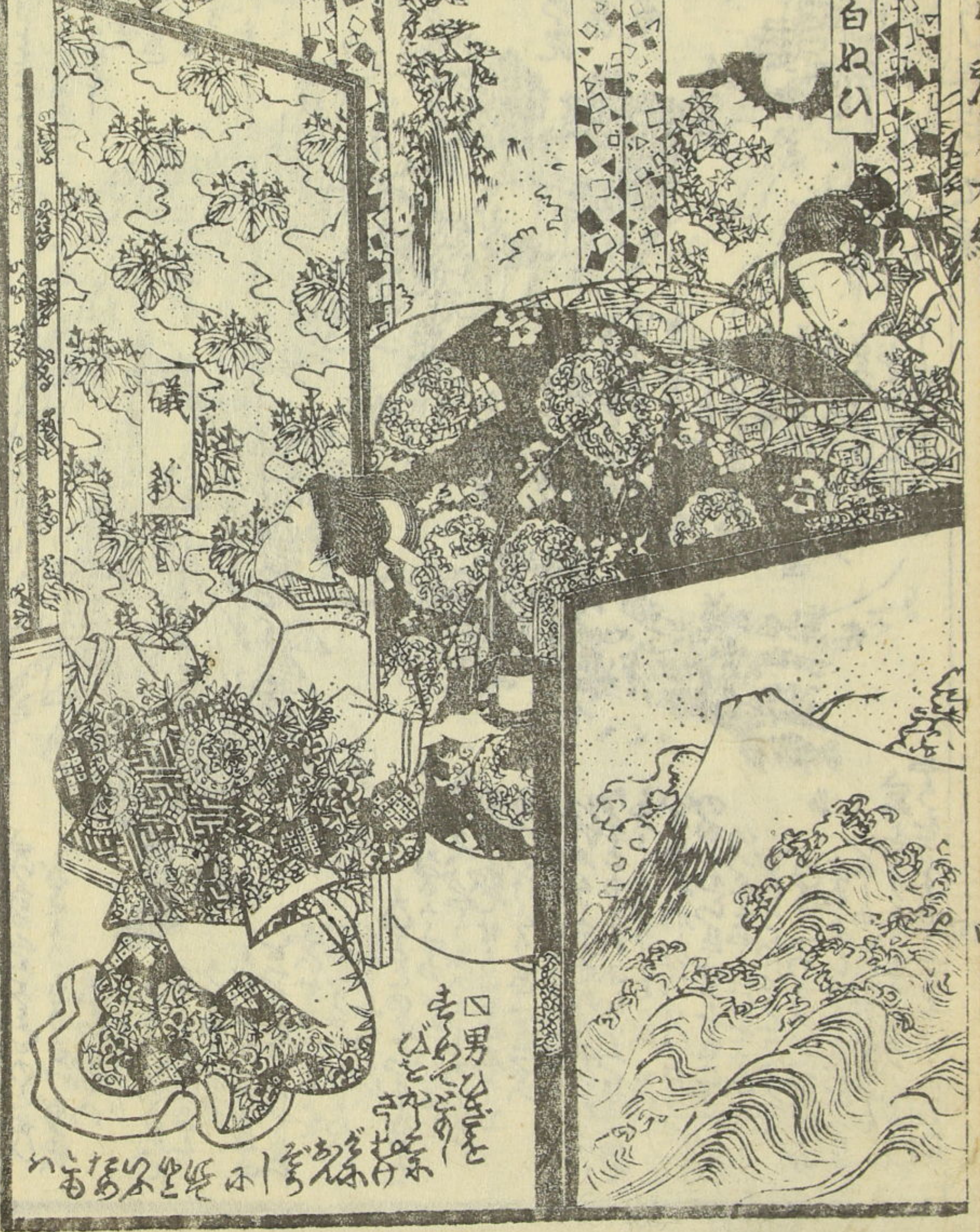


鳥朝の御説き... 鳥朝

鳥朝の御説き... 鳥朝

弓長月九編

山は...
 白蛇...
 高門...
 若君...
 儀教...
 男...



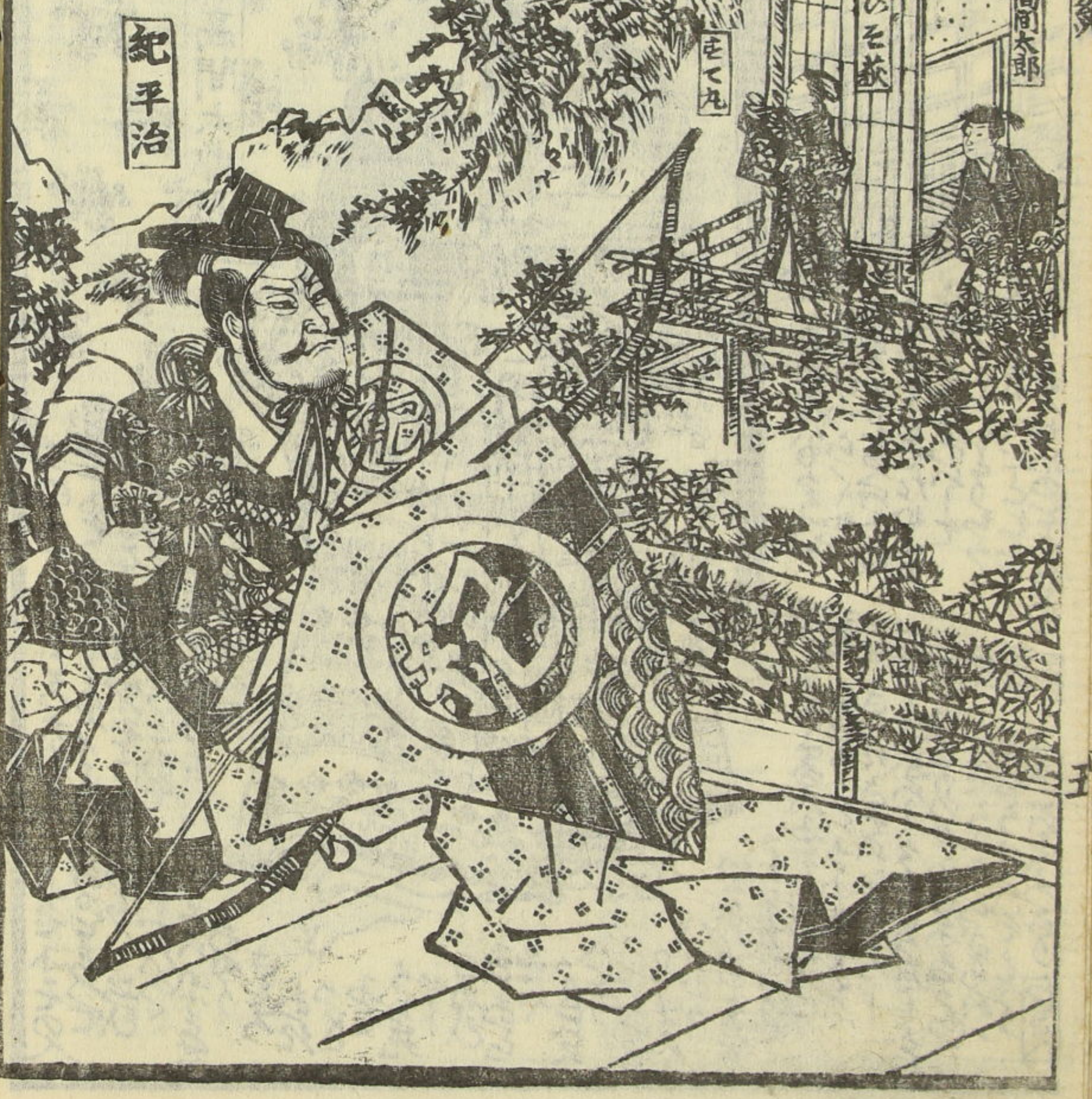
山は...
 白蛇...
 高門...
 若君...
 儀教...
 男...



若君
 高門太郎

儀教

ついでにこのめづる
 白河の月夜
 ひろみちの
 みづの
 まれはかり
 白河の月夜
 ひろみちの
 みづの
 まれはかり
 白河の月夜
 ひろみちの
 みづの
 まれはかり



紀平治

とわぬこのこころを
 のろむとて
 あつちの
 つひの
 ひろみちの
 みづの
 まれはかり
 白河の月夜
 ひろみちの
 みづの
 まれはかり



為朝

まはら
 のろむとて
 あつちの
 つひの
 ひろみちの
 みづの
 まれはかり
 白河の月夜
 ひろみちの
 みづの
 まれはかり



Vertical text column on the far left edge of the page.

Vertical text column on the left side of the page.

Vertical text column on the left side of the page.

Vertical text columns in the upper left quadrant.

Vertical text columns in the middle left quadrant.

Vertical text columns in the lower left quadrant.

Vertical text columns in the upper right quadrant.

Vertical text columns in the middle right quadrant.

Vertical text columns in the lower right quadrant.



Vertical text columns at the top of the page.

Vertical text columns on the left side of the page.

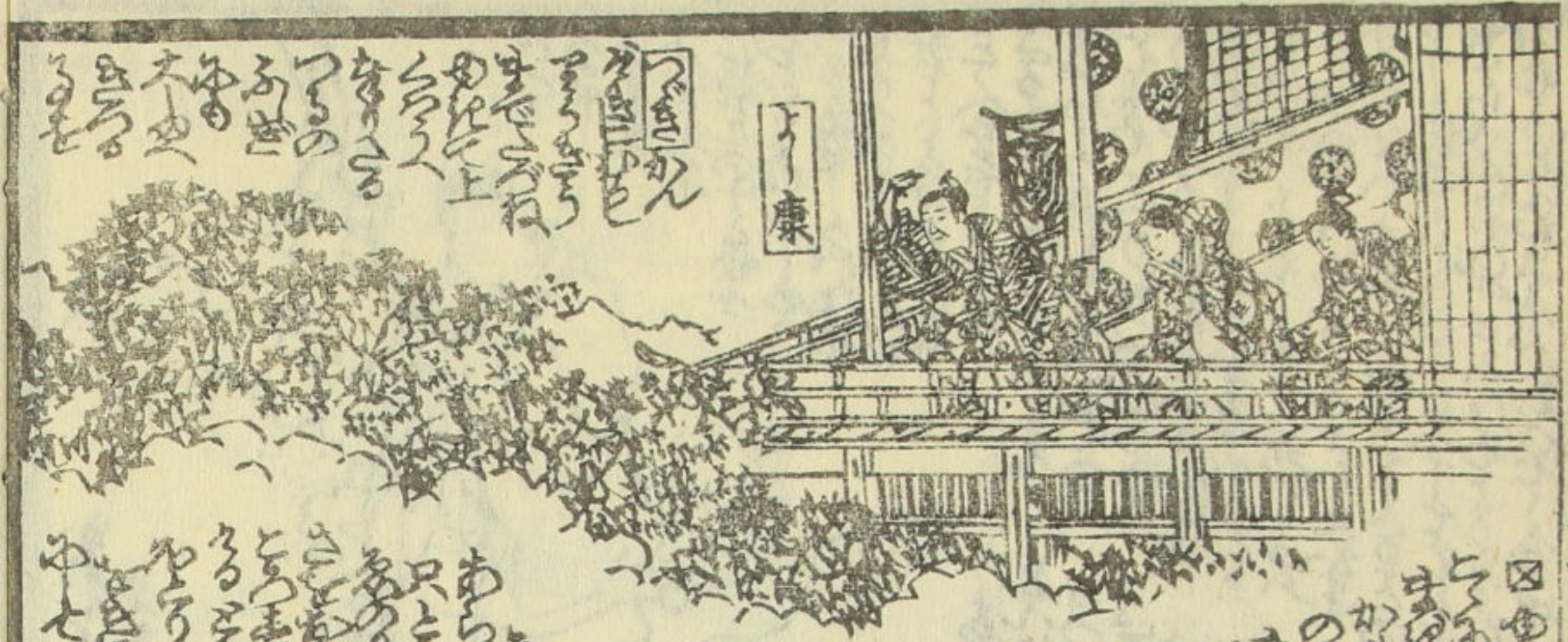
Vertical text columns in the middle left quadrant.

Vertical text columns on the right side of the page.

Vertical text columns in the middle right quadrant.

朝 雑 丸

時 員



日田の三十三人... 江戸川... 日田の三十三人... 江戸川... 日田の三十三人... 江戸川...

梁田時員



梁田時員... 江戸川... 梁田時員... 江戸川...

世に... 江戸川... 世に... 江戸川... 世に... 江戸川...

朝稚丸

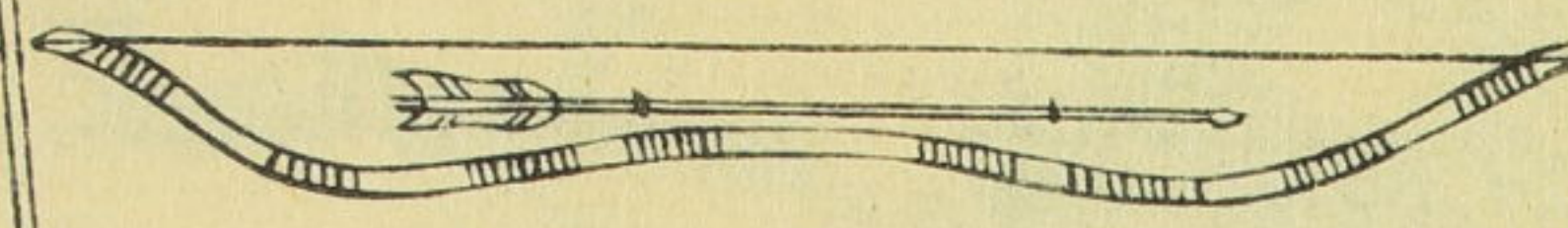


朝稚丸... 江戸川... 朝稚丸... 江戸川... 朝稚丸... 江戸川...

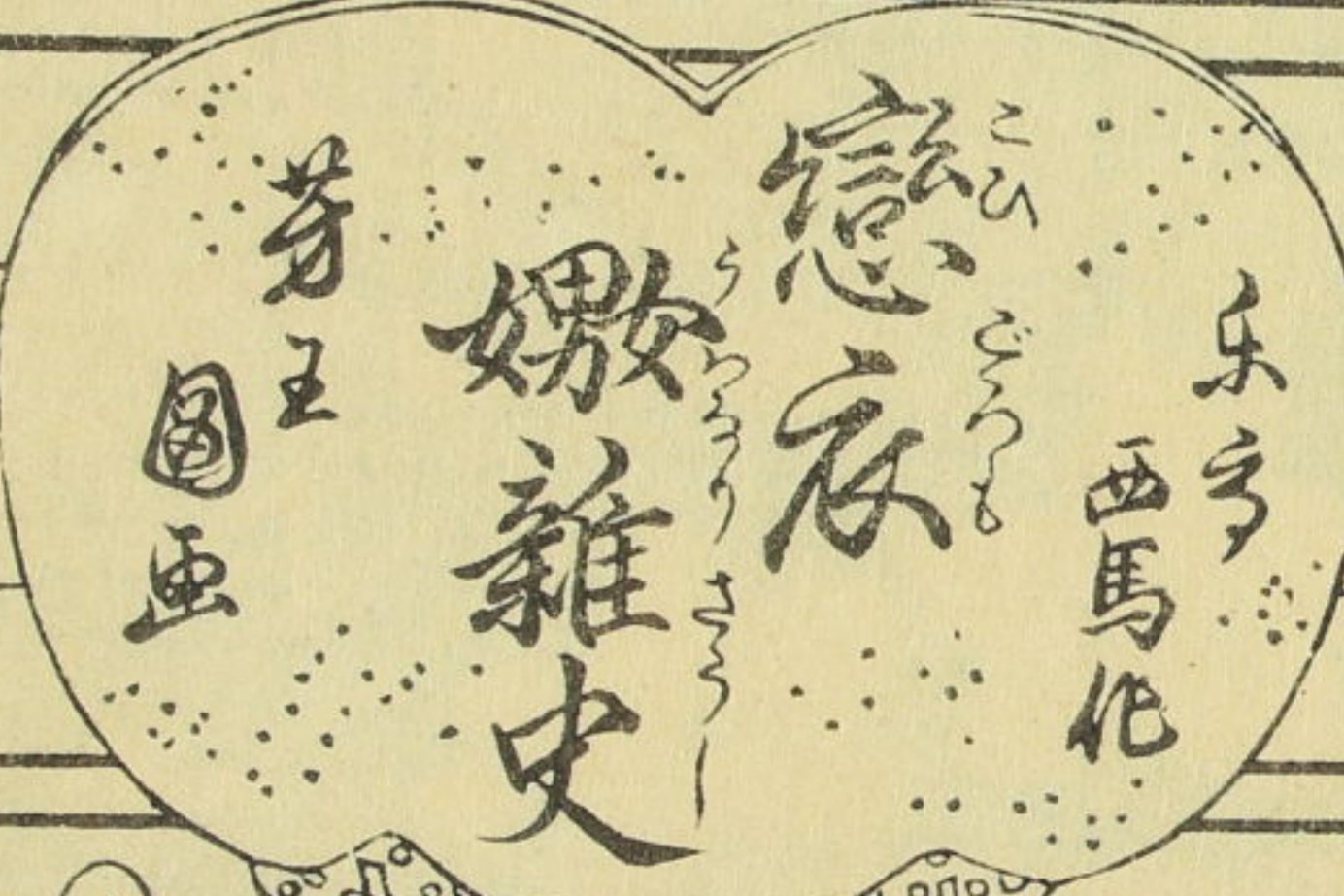
錦昇堂新發行目錄

東錦繪草紙問屋 照降町 惠比壽屋庄七梓

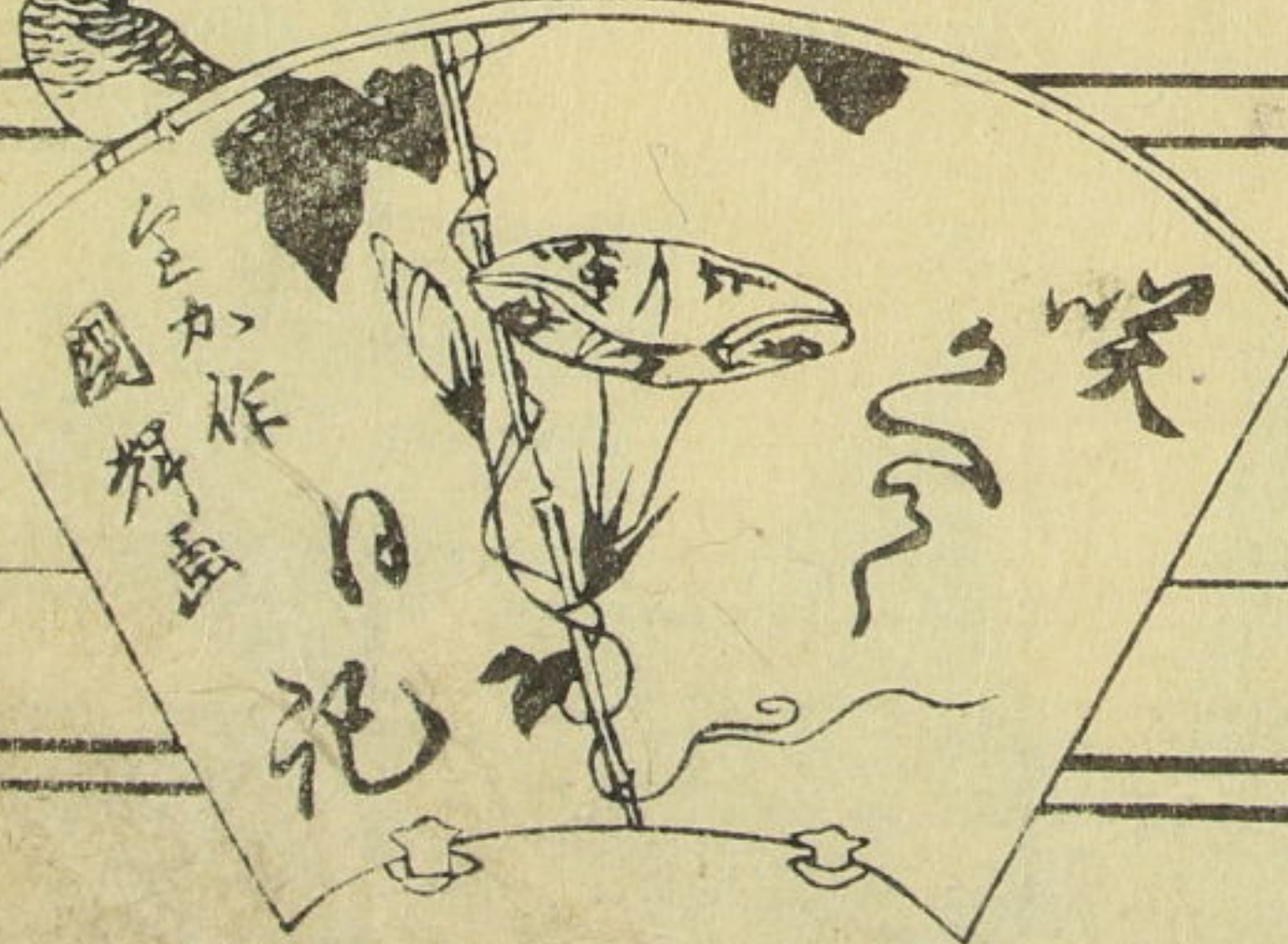
西馬譯 弓張 月春 霄榮 國輝画



戀衣 嫩雜史 牙王 國画



笑 日記 國輝画



小夜衛白波草紙 仙果作 芳希画

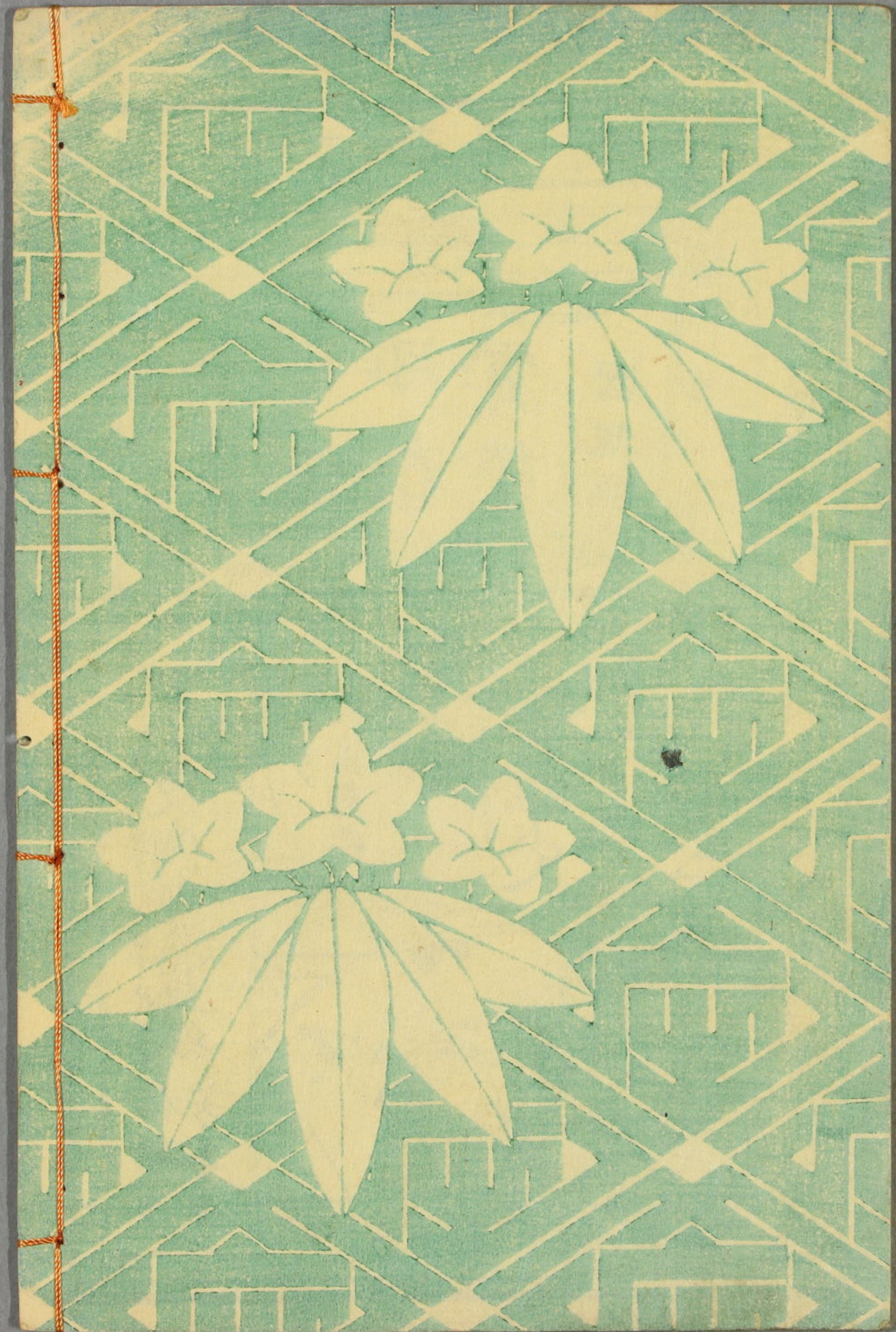
西馬縮譯國輝画圖

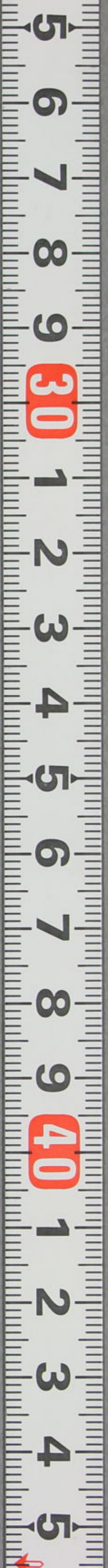
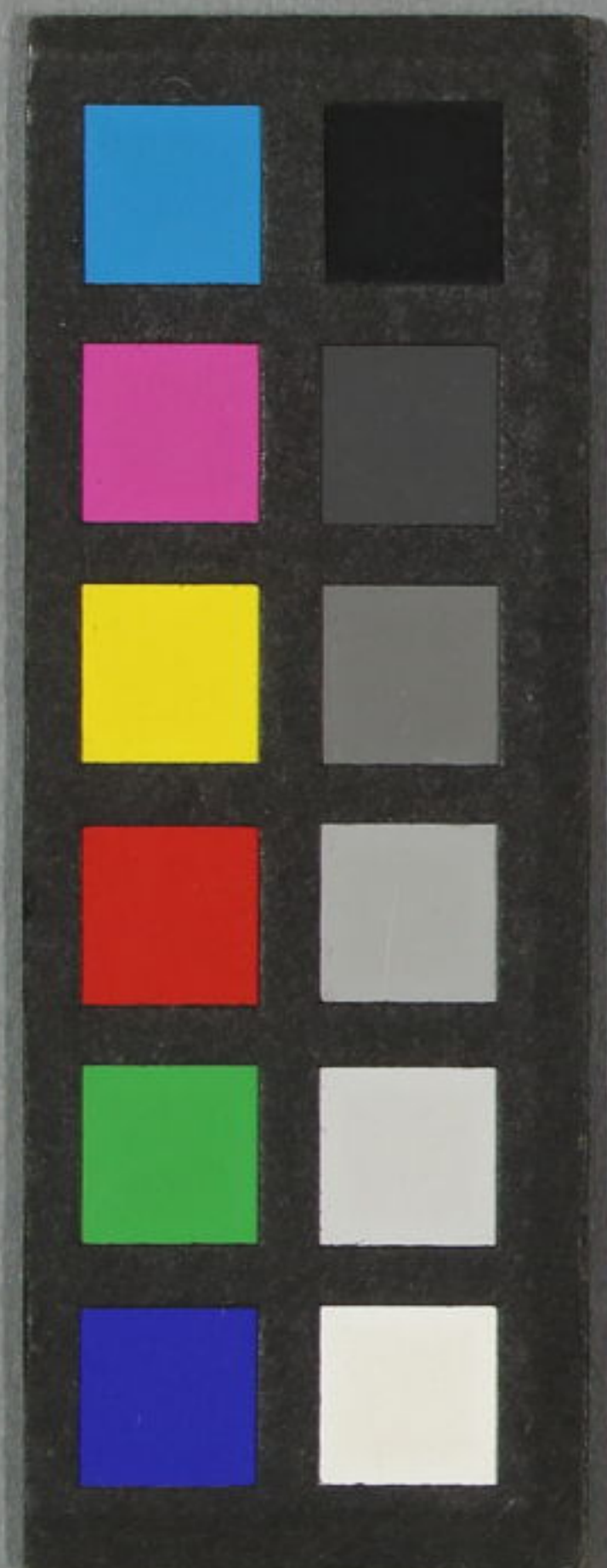
朝雅

時員



この巻は、朝雅の物語を、時員の物語を、縮譯して、國輝画で描いたものである。朝雅は、時員と恋をしたが、時員は朝雅を捨てた。朝雅は、時員を探して、時員と再会したが、時員は朝雅を殺した。朝雅は、時員の死を恨み、時員の仇を討つために、時員を探して、時員を殺した。朝雅は、時員の死を恨み、時員の仇を討つために、時員を探して、時員を殺した。







濁丸

時員

Handwritten text in a red-bordered box, likely a title or scene description.

朝権
 夜二日おのれをたつりて
 之つらふんかたはらふ
 入下ゆめをあらうま
 せうしあつてり
 ちのち
 ちのち
 のちのち
 のちのち

門へ13
 3893
 卷 18

延見

七つ目

西馬権

國輝画

九角ん

下冊

縁昇り

上梓





時員死骸

濁丸首

この世の世に生かすは...
死にたはるは...
時員死骸
濁丸首

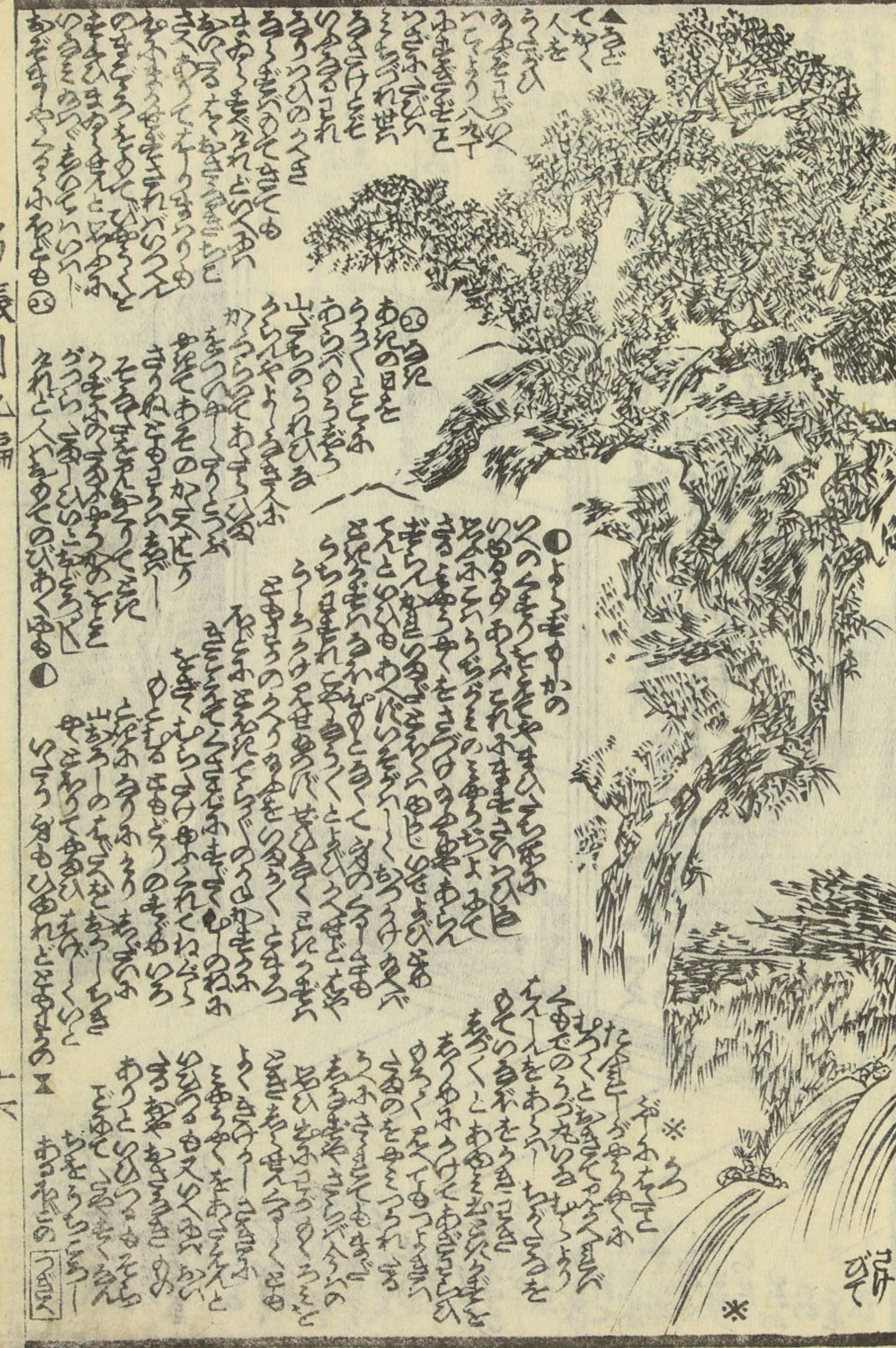


朝推

この世の世に生かすは...
死にたはるは...
朝推

この世の世に生かすは...
死にたはるは...
朝推

この世の世に生かすは...
死にたはるは...
朝推



Vertical text columns on the left side of the page, including a title '長月九編' (Chang Gyu Kyū Hime) and various descriptive labels for the scene.



Vertical text columns on the left side of the right page, providing context and descriptions for the illustration.

長月九編 (Chang Gyu Kyū Hime)

五 (5)

Vertical text columns on the right side of the right page, likely a poem or commentary related to the scene.



あつたてふふらうがうあいののちりうひあて
ちぢぢうふふらうのちぢぢうがうちぢぢうがうちぢぢうがう
あつたてふふらうのちぢぢうがうちぢぢうがうちぢぢうがう
あつたてふふらうのちぢぢうがうちぢぢうがうちぢぢうがう
あつたてふふらうのちぢぢうがうちぢぢうがうちぢぢうがう

時員



朝稚

あつたてふふらうのちぢぢうがうちぢぢうがうちぢぢうがう
あつたてふふらうのちぢぢうがうちぢぢうがうちぢぢうがう
あつたてふふらうのちぢぢうがうちぢぢうがうちぢぢうがう
あつたてふふらうのちぢぢうがうちぢぢうがうちぢぢうがう
あつたてふふらうのちぢぢうがうちぢぢうがうちぢぢうがう

あつたてふふらうのちぢぢうがうちぢぢうがうちぢぢうがう
あつたてふふらうのちぢぢうがうちぢぢうがうちぢぢうがう
あつたてふふらうのちぢぢうがうちぢぢうがうちぢぢうがう
あつたてふふらうのちぢぢうがうちぢぢうがうちぢぢうがう
あつたてふふらうのちぢぢうがうちぢぢうがうちぢぢうがう

嘉永八乙卯春新彫目録

釜地本草紙問屋
笑壽屋庄七版

竹雀千代咲
西馬補案
國輝画圖

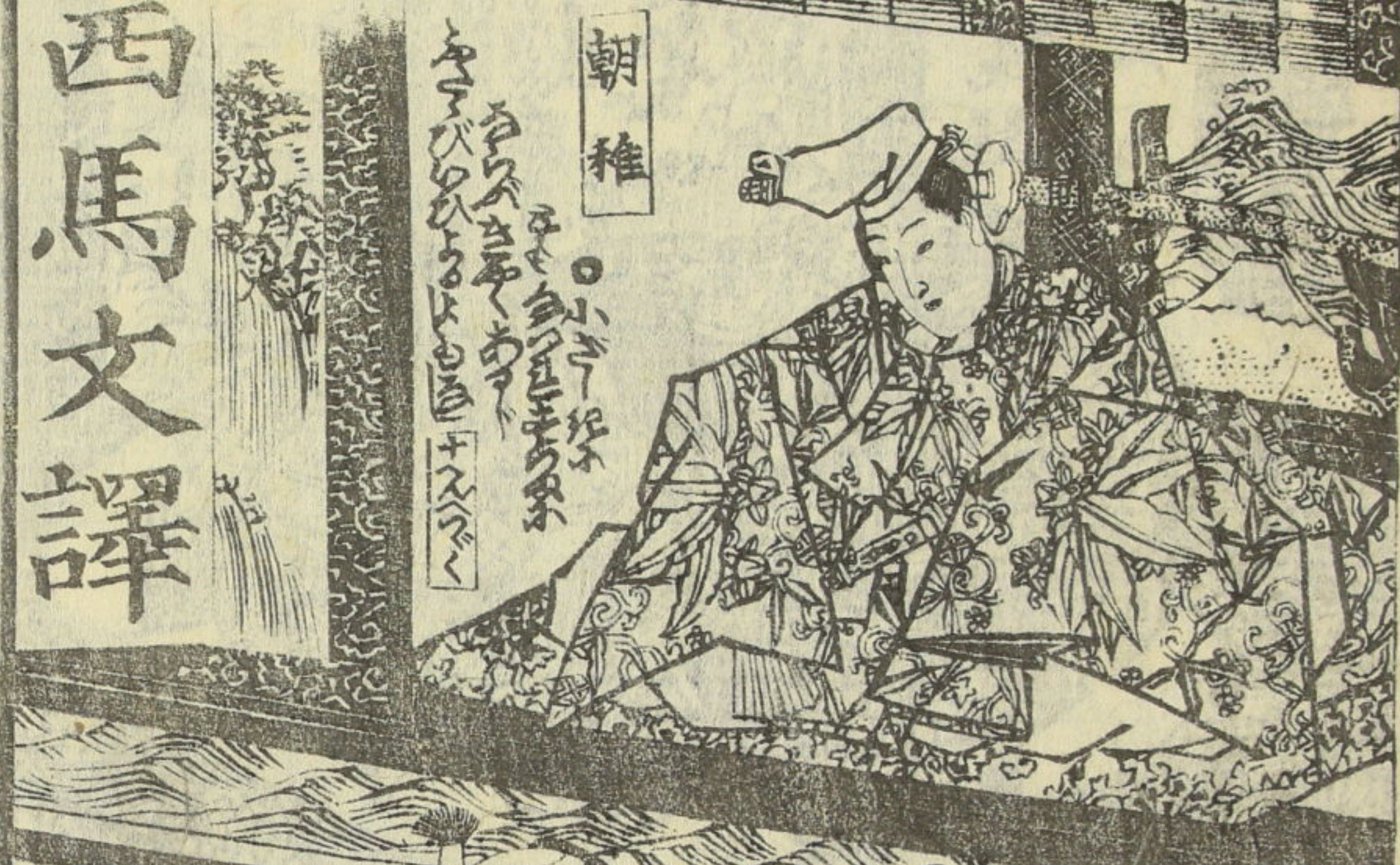
聖德太子
大和鏡
万亭應賀作
一壽奔國貞画

三鱗形
鏡倉双糸
西馬作
國輝畫

雲龍
九偷郎
傳盜
故人三馬遺稿
增補西馬案
画工一勇齋

樂亭西馬文譯

朝稚
時員



鉦持樓國輝画

海言集

